

歴史と景観を楽しめる港湾緑地の整備が 横浜のシンボルとして港ににぎわいをもたらす

よこはま
file10 **横浜港**

対象施設 新港地区港湾緑地（赤レンガパーク）

供用 平成11年一部供用開始、平成14年赤レンガ倉庫供用開始、平成16年完成予定

近代港湾発祥の地である新港ふ頭のシンボルともいえる赤レンガ倉庫を中心に、旧税関事務所の遺構やプラットホーム等を保存・活用。歴史を感じ、みなとの景観を楽しむことのできる港湾緑地として整備され、人々に安らぎと安心を与える。

文化・商業施設としてリニューアルした赤レンガ倉庫とともに、港の賑わいに大きく貢献、2号倉庫のオープン後1年間の来場者は680万人、みなとみらい21地区全体の来街者数は前年より500万人増加。



●近代港湾発祥の地が横浜のシンボルとして整備

